

放課後児童支援員等資質向上研修

障害児支援の現場から②

【公認心理士】

講師 丸山 直子氏



NPO 法人沖縄県学童・保育支援センター





令和3年度 放課後児童支援員等資質向上研修

障がい児支援の現場から②



合同会社 OfficeTiiDA 代表

公認心理師 丸山 直子



©office-tiida.com

本日の講義の流れ

I

自己紹介



保育巡回
相談とは



活動紹介

II

子どもの
観察ポイント



先生への
助言ポイント



保護者への
助言ポイント

III

事例紹介



児童クラブ
とは？



まとめ

みなさんが勤務されている
放課後児童クラブに、心理師が
巡回相談に来たら、
みなさんの子ども達にできる
支援の内容や質は変化すると思
いますか。

そのように思われた理由とともに、
述べてください。



自己紹介

2

常勤職 心療内科・精神科のカウンセラー

常勤職 京都市の行政職

開業 私設相談室 堀川カウンセリングルームKyoto

- ・京都府私立幼稚園連盟キンダーカウンセラー
- ・京都市保育園連盟 保育園巡回相談員
- ・京都市保育園連盟 保育窓口相談相談員
- ・京都市民間保育園障害児統合保育対策事業 訪問調査員など。

転居 2018年3月から沖縄県民に

- ・沖縄県の保健所の心の健康相談室やこども園の巡回相談など。
- ・「心理・発達サポートルーム Okinawa」を開業
(カウンセリング、未就学児の子育て・発達相談、幼保の先生などの
関連職の方を対象にしたコンサルテーションが全てオンラインで
できる相談室)
- ・合同会社OfficeTiiDA設立 (乳幼児訪問相談や講師を派遣をする会社)

- 主治医からのオーダーで
カウンセリングを担当。
⇒ うつ病や神経症などの心の病が
5年以上、長い人は20年以上
続いていて、服薬だけでは回復
しない患者さんたちが対象。
- 対象者は、下は大学生から、
上は50代くらいまでの、
サラリーマンや、主婦。



- 病名は「うつ病」「不安障害」「適応障害」・・・。
しかしカウンセリングでじっくり話をきいていくと、症状が長期化、慢性化している患者さんには、それまでに社会適応に関する問題を複数抱えている人が多いことに気づく。
- つまり、もともと発達障害や発達の偏りがベースにあるが、本人も周囲も気づかず、その二次障害（※）で、しんどくなり「心の病」になり通院。

※ 二次障害

純粋な「うつ病」や「神経症」ではなく、発達障害や発達の偏りが原因で、生きづらさや会適応の問題などを日常的に抱えており、その結果、鬱などの心の症状が出てしまうこと。

- 心の病の症状、例えば

- ◆食欲がない
- ◆眠れない
- ◆気持ちが沈んで何もやる気が起こらない

などには、処方された薬が効くが…。

- 根本的な問題、例えば

- ◆毎日の生活の中での生き辛さ
- ◆自分は人とはちょっと違うんじゃないか、という違和感
- ◆人間関係が苦手な感じ
- ◆他の人と比べて「できない」感じ

などは、解消されないまま残っているので、「良くなった」と思っても再び同じ症状が出たり、一旦治っても再発したり、ということを繰り返してしまい、なかなか回復することができない。



⇒ 発達障害者支援法が公布されたのは、2005年。

現在、30歳前後以上の方は
何のサポートもなく社会へ。

⇒ 当時、大人の発達障害を診られる精神科医は、まだまだ少なかった。



| | |
|--------|---|
| 2009年～ | 京都府の私立幼稚園の保育カウンセリング事業が開始される ・ 京都府私立幼稚園連盟 キンダーカウンセラー |
| 2013年～ | 京都市の保育園の巡回相談事業が拡大される ・ 京都市保育園連盟 保育園巡回相談員 ・ 京都市保育園連盟 保育窓口相談相談員 ・ 京都市民間保育園障害児統合保育対策事業 訪問調査員 |
| 2014年～ | 京都府も子育て支援領域の心理士は不足 ・ 京都府井手町 保育巡回相談員 |
| 2018年～ | 沖縄県に移住 ・ 那覇市保健所 発達相談員 ・ 那覇市保健所 こころの健康相談員 (←成人の相談がメイン) ・ 那覇市 保育巡回相談員 ・ 南風原町 発達相談員 ・ 沖縄市 巡回巡回相談員 |



| | |
|--------|--|
| 1991年～ | 乳幼児健全発達支援相談事業 開始 ・ 「親子教室」(乳幼児健診で経過観察等のフォローが必要な母子への対応) が開始。 |
| 2005年～ | 発達障害者支援法施行 ・ 目的は、発達障害児(者)の早期発見と支援 |
| 2011年～ | 「巡回支援専門員」事業開始 ・ 厚労省における発達障害者支援施策の一つ。 ・ 任意の市町村事業としての位置づけ。 ・ 必要経費の一部を補助 (2017年度補助率：国1/2、都道府県1/4、市町村1/4) |
| 2016年～ | 障害者差別解消法の施行、発達障害者支援法の改正 ・ 「インクルーシブな支援」へ。 |

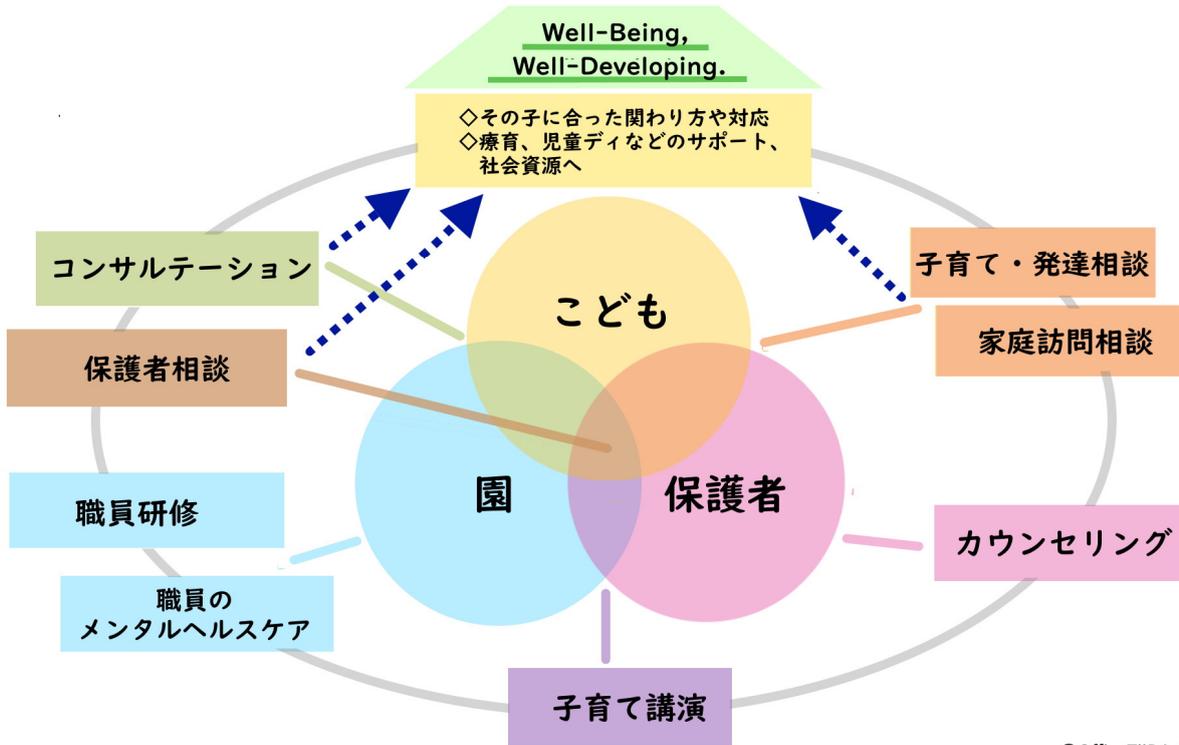


- 発達障害等に関する知識を有する専門員（※1）が、保育所等の子どもやその親が集まる施設・場への巡回支援を実施し、施設等の支援を担当する職員や親に対し、障害の早期発見・早期対応（※2）のための助言等の支援を行う。
 - ※1 医師、児童指導員、保育士、臨床心理技術者、作業療法士、言語聴覚士等。
 - ※2 親に対する助言・相談支援、児童相談所や発達障害者支援センター等の専門機関へのつなぎ、M-CHATやPARS等のアセスメントを実施する際の助言、ペアレントトレーニングの実施など。

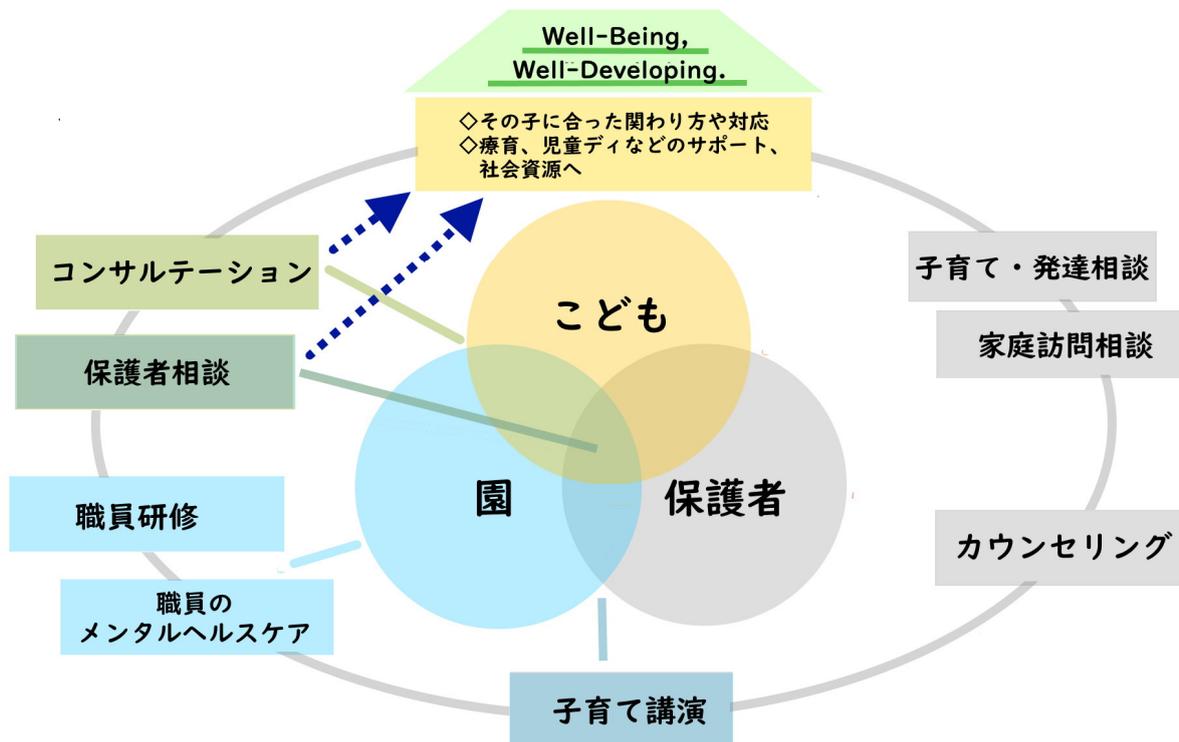
厚生労働省 巡回相談支援 活動マニュアルより

- 発達障害の診断がついた子どもだけでなく、保育園、幼稚園、こども園などで先生方が「気になる子」についての相談もできる。
 - ⇒ 個別相談（気になる子どもの相談）、クラス相談（気になる子が含まれるクラス運営に関する相談）ができる自治体も）。
- 保護者支援ができる。
 - ⇒ 一般的な子育て相談で完結することもあるが、地域の発達相談機関に繋がることもある。
また、保護者自身の問題（発達やメンタルヘルス等）がわかった場合、医療機関を紹介したり、DVや虐待等の発見、支援に繋がることもある。
- 行政、障害担当、子育て担当、母子保健、保育園や幼稚園などの就学前施設が、枠組みを超えて「子どもと家族の支援」という共通項目で繋がり、支援を行うことができる。

厚生労働省 巡回相談支援 活動マニュアルより



©OfficeTiiDA G.K.



©OfficeTiiDA G.K.

- 巡回相談は、自治体によって運用の仕方がまちまち。
- 前出のような「巡回相談」が実現している自治体は、非常に少ないと思われる。



自治体によって運用が「まちまち」な例

14

- 自治体Aの場合
 - 臨床心理士（公認心理師）を「委嘱職員」として採用
 - 担当園に、年間4～8回訪問
 - 活動時間は10時～15時
 - 対象は、障害児（診断がついている子）だけでなく、先生が「気になる子」についての相談もできる
 - 保育者相談、保護者相談、発達チェック（簡易な発達検査）が可能
- 自治体Bの場合
 - 担当園はなく、市から指定された園を訪問
 - 活動時間は9時～12時。時間内に2ヶ園を訪問し、合計3名の子どもを担当
 - 対象は、障害児（診断がついている子）のみ。
 - 子ども1人あたり10分の観察、その後、保護者相談30分（担任同席）

● 自治体Aの場合

- 福祉サービスを受けるのに、医師の「診断」や「意見書」は必要はなく、児童福祉センター、医療機関、開業臨床心理士などが実施した、新版K式発達検査の結果と所見があれば申請できる。
- 児童福祉センターの発達相談部門が、発達検査や療育（児童デイ）のマッチングまで行う。
（もちろん、保護者が通所先を探してきてても良い）

● 自治体Bの場合

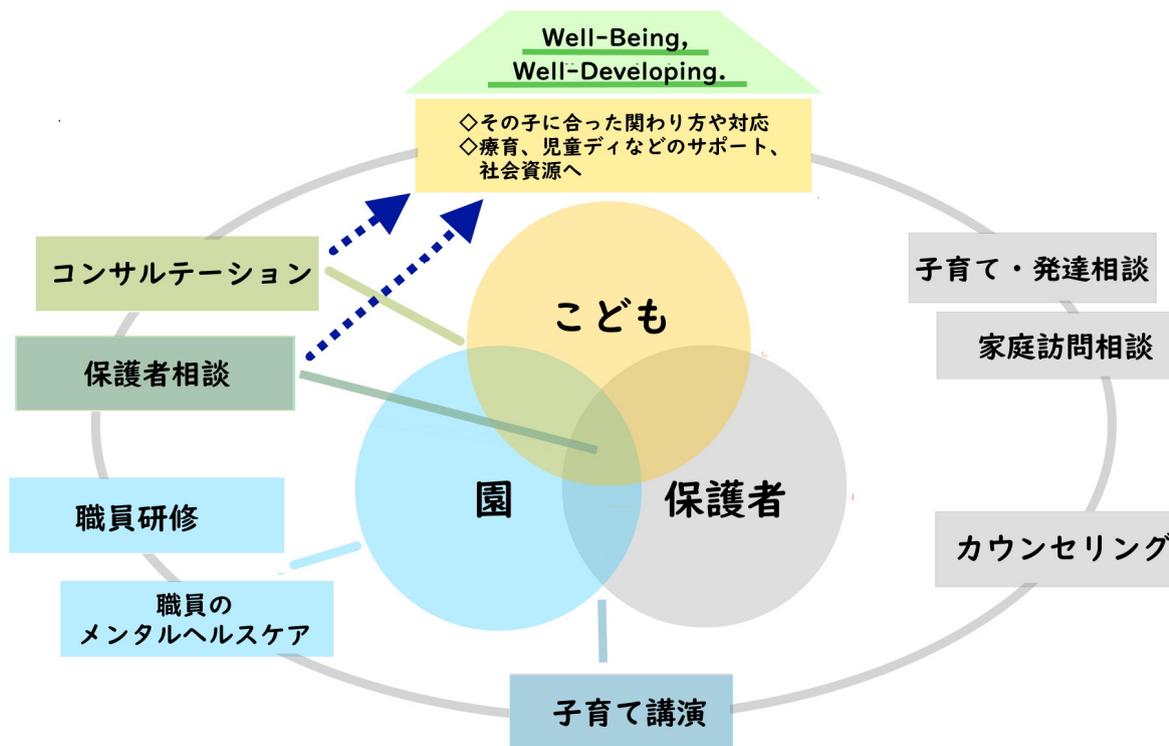
- 福祉サービスを受けるのに、医師の「診断」や「意見書」が必要。
- 療育（児童デイ）の数が少なく、発達相談で支援が必要と判断されても、適切な支援に繋がれるとは限らない。

- 保育巡回相談の私立幼稚園版のこと。
- 園とカウンセラーが直接雇用契約を結ぶ。
- 活動内容は保育巡回相談に同じ。
ただし、園の裁量により、保護者がカウンセラーに直接相談できる「保護者相談(広い意味での子育て相談)」、先生や職員のメンタルヘルス維持のための「教職員相談」、「保護者講演」や「職員研修」など幅広く活動できる。

活動の
自由度が高い！

【ある政令指定都市の場合】

- 報酬は、スクールカウンセラーと同等。
- 活動時間は10時～16時。
- 契約は最低年3回から。
- 2回分は自治体から補助が下りる(3回目以降は園が負担)。



©OfficeTiIDA G.K.

訪問相談の一日の流れ（コロナ禍前）

18

| | |
|-----------------------------------|---|
| 10時 | <ul style="list-style-type: none"> ・出勤 ・担任から相談対象児についてのヒアリング |
| ～昼食まで | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスに入り行動観察 |
| 昼食 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで子ども達と一緒に食べる |
| ～降園時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスに入り行動観察 |
| キンダー カウンセラー:降園後 保育園:午睡中 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルテーション ・保護者相談 |
| 保育園:15時 キンダー カウンセラー:16時 | <ul style="list-style-type: none"> ・退勤 |



複数クラスの場合は移動しながら観察

- 一日に何度も「次、何するの?」と担任に尋ねに来るA君。
- 担任には「一日の活動の流れ(スケジュール)」をつくってもらい、A君には、「あそこに貼ってあるから、見てきてごらん」と、自分で確認できる環境をつくるよう助言した。



ねーねーせんせい。
つぎは、なにをするの?

きょうは、きゅうしょく?
おべんとう?

- 先生に答えてもらって安心 から 自分で確認して安心 へ
- 先生に尋ねてくることは、なくなった!
- スケジュールを視覚化すると、他の「ちょっと気になっていた子」達も、先生が何も言わなくても、見に行って自分で行動できるようになっていった。
- さらに、「しっかりしている」「きちんとできている」と思っていた何名かの子も、スケジュールを確認しながら行動する姿が見られた。

- 先生の気づき

**視覚支援は、
特別な子への特別な配慮ではなく、
自主性の育ちにも役立つんだ
ってことが、わかりました。**

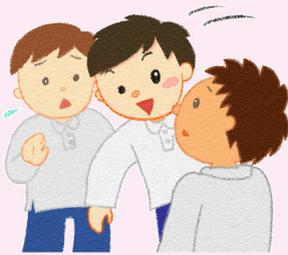


- 設定保育中に、立ち歩きが多いB君。
注意すると席には居るが、椅子の上で体育座りをしたり、
後ろを向いて座ったり、座面の上に立ったり...
とにかく落ちつかない。

- 観察すると...



「発達障害」や「発達に偏りがある子」とは 23



- 脳機能の一部が、通常とは異なる働きをする。
- 得意なことと苦手なことの差が激しい。
- 知的な遅れはない。
(乳幼児健診では指摘されない)
- 病気、障害というよりは、個性に近い。
(KY、不思議ちゃん、ちょっと変わった子、など)
- もって生まれたもので、親の育て方とは関係がないが、置かれる環境によってアンバランスな言動は、目立つようになり、目立たなくなったりする。

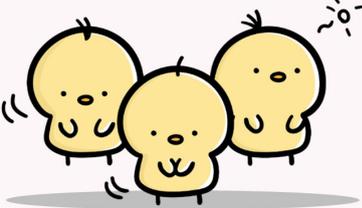
「気になる子」へのそれぞれの思い 24

クラスに「気になる子」がいるときの先生の気持ち

- 性格？
- 経験不足？ 家庭環境？
- 自分が信頼関係をつくれていないから？
- それとも発達の問題？

先生から「気になる」と言われた保護者の気持ち

- 性格では？
- 男の子(女の子)だからでは？
- 早生まれだからでは？
- まだ〇歳なのに。(年齢が小さいほど様子を見たいと思いがち)
- 私の育て方が悪い(と言われている)のかな？
- 父親(母親)が小さい頃と同じだから(大丈夫と親に言われた)

| 発達の特性 | 日常での現れ方の例 |
|--|--|
| <p>1. 注意力・集中力の問題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • ぼーっとしていることが多い。 • 話を聞いていないことが多い。 • 課題を最後までやり遂げることができない。 • 集中が途切れやすく、途中で違う活動を始めてしまう。 • 外から聞こえてくる音や、窓から見えた光景が気になって、活動に参加できなくなる。 |

| 発達の特性 | 日常での現れ方の例 |
|--|--|
| <p>2. 思考のスピードや作業のスピードの問題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • マイペースで「急ぐ」ことができない。 • 話しかけてから返事があるまでの間が長い。(自分から話す時は、流暢) • 何をするにも時間がかかる。 ⇒ただし、運動発達の問題を併せもっている場合は、不器用さから時間がかかることも。 • 思考スピード、作業スピードともに、早い(早すぎる)子は、あまり問題にならない。ただし、衝動性特性も併せもっている場合は、フライングやケアレスミスが多いなど、問題になりやすい。 |

| 発達 の 特性 | 日常での現れ方の例 |
|---|---|
| <p>3. 感覚の問題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 臭いや音などに敏感で、他の子どもが平気な臭いや音が気になる。 • 言葉が出る子の場合： 「うるさい！」 「くさい！」 • 言葉が出にくい子の場合： 耳をふさぐ、機嫌が悪くなる、突然泣き始める、部屋から出たがる、など。 • 痛みや体調不良に鈍感、または敏感(ケガ、骨折、発熱、吐き気……)。 |

| 発達 の 特性 | 日常での現れ方の例 |
|---|---|
| <p>4. 実行機能の問題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 優先順位がつけられない。 • ゼロベースからの作業が苦手 例：制作などの時の「どこから取り組んでもいいよ」→いつまで経っても進まない。 • 段取りが悪い。 例：お菓子の袋や箱の開け方。 • 知っているはずのことができない。 例：朝の挨拶は「おはよう」だと知っているのに、先生が「おはよう」と声をかけても返って来ず、無視しているように見える。 |

| 発達 の 特性 | 日常での現れ方の例 |
|--|--|
| <p>5. コミュニケーションの問題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 言葉が出るのが遅い／遅かった。 • 一人で遊んでいることが多い。 • 家族は誰も話さないのに標準語で話したり、敬語を使う。 • 自分の興味関心があることを、一方的に、饒舌に話す。 • お友達とのトラブルの経緯(状況)を説明できない。 • KY |

| 発達 の 特性 | 日常での現れ方の例 |
|--|--|
| <p>6. 自分と他者との境界の問題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • お友達のを突然、横取りする。 • お友達の給食やおやつを食べてしまう。 • お友達が嫌がっている(泣いている)のに、行動を改めない。 • お友達が叱られているのを見て、自分も叱られているように感じてしまう(泣き出す)。 • KY |

| 発達 の 特性 | 日常での現れ方の例 |
|--|--|
| <p>7. 衝動性や多動性の問題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> • 落ち着きがなく、着席すべき場面での立ち歩きが多い。 • おしゃべりがやめられない。 • お友達のを突然、横取りする。 • お友達の給食やおやつを食べてしまう。 • 順番が守れない。 • 列に並べない。 • 待つことができない。 • ささいなことでカッとなったり、パニックになる。 |

1. 担任の先生の心理的、物理的負担を減らすこと

- 特性理解や環境を調整することで、子どもが落ち着き、先生が楽に。
- 特性が理解できると、子どもへの対応が変わる。

➡子どもにとっても良い結果になる。

2. 先生方の専門性を頼りにする

- 巡回相談は、「保育、幼児教育のプロ」と「心理、発達のプロ」のコラボ！
- 先生方が、「巡回相談員から“指導を受ける”」という立場や気持ちにならないような工夫や配慮。

- ◇ わが子の理解を深めてもらう手助けをする、という姿勢。
- ◇ 子どもが「より」のびのび、「より」すくすく 育つために
できることを提案する。

◇ _____

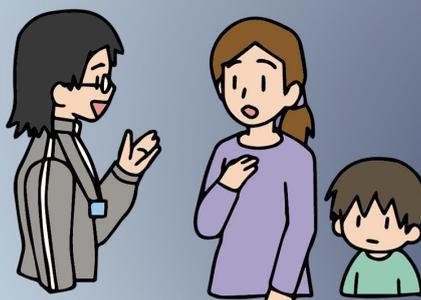


- ◇ 発達検査や療育(児童ディ)につなげたい時は…
- ・目の前にいる保護者の状況や気持ち、我が子を思う気持ちを大切にしながら、
- ・保護者の心理的な負担(ショック)は最小限で済むように、
- ・大袈裟にならず、
- ・かといって、軽すぎもしない(この子を育てるには専門家の支援がある方がいいんだ、一人で、家族だけで頑張らない方がいいんだ、と理解していただくような)伝え方。



どんな子ども、
支援(配慮)が「ない」より
「ある」方が、
より すくすく、
より のびのび
育つことができる。

「どうしても伝わらない保護者がいるんです...」



「どうしても伝わらない保護者がいるんです…」 37

集団生活の場でしんど
そうな姿が見られるから、
今のうちになんとか
しておいてあげたい。

家では何も問題を感じて
いない。

習い事でも、何も言われ
たことがなく、むしろよく
できるくらいなのに…。



「どうしても伝わらない保護者がいるんです…」 38

- 保護者も「発達」してゆかれる。
- 「わからせよう」としない。
大切なのは、保護者と良好な
関係を築き、継続すること＝ずつ
と関われる、支援ができる)
- 伝わらなくても、
「種は撒いた」と思って下さい^^

- 受け入れられない事情は
さまざま。
- タイミングが、大事！
- 後に、「あの時、先生が言ってくれ
ていたのは、こういうことだったの
か…」と理解できることも。



相談時期 5歳児クラスの2月

メモ

【考察】児童クラブってこんなところ？

- ◎ 小学校より、集団が小さい。
- ◎ 小学校より、先生の目が届きやすい。
- ◎ 年下、年上の子と遊ぶことができる。

- ▲ 保育園や幼稚園よりは、集団が大きい。
- ▲ 保育園や幼稚園ほどは、手をかけてもらえない。
- ▲ 小さいころからの自分を知ってくれている先生がいない。
- ▲ 身体が大きく力が強い年上の子が、怖い存在になることも…



保育園や幼稚園と比べるとすごし辛い
が、小学校よりは、すごしやすい場所。

- ⇒ 小学校よりは、自分が出せる。
- ⇒ 小学校よりは、お友達と遊べる(お友達が選べる)。
- ⇒ 小学校よりは、のびのび過ごせる。



- ⇒ 保育園や幼稚園と比べるとすごし辛い
が、小学校よりは、すごしやすい。
- ⇒ 小学校よりは、自分が出せる。
- ⇒ 小学校よりは、お友達と遊べる。
- ⇒ 小学校よりは、のびのび過ごせる。

↑
という環境の中での「その子の姿」を知っているのは、
放課後児童クラブの先生たちだけ！！

「放課後児童クラブ」という環境の中での「その子の姿」
を知っているのは、先生たちだけ！！



◎ 小学校(大きな集団)や家庭(理解者しかいない特殊な小集団)と、違う姿が見られる。

⇒ とても大切な観察ポイント！

◎ 「児童クラブだからこそ、できる(できた)支援」を意識する。

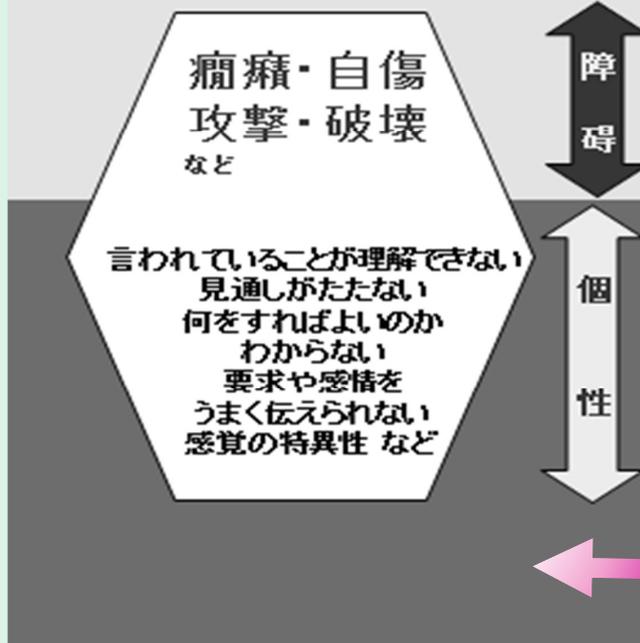
⇒ 「こんな工夫をするとできた」「こんな関わりで伸びた」という記録、伝言、申し送りは、その子の育ちの助けに！

そんな放課後児童クラブで、



自己肯定感をどんどん育てていってあげてください！

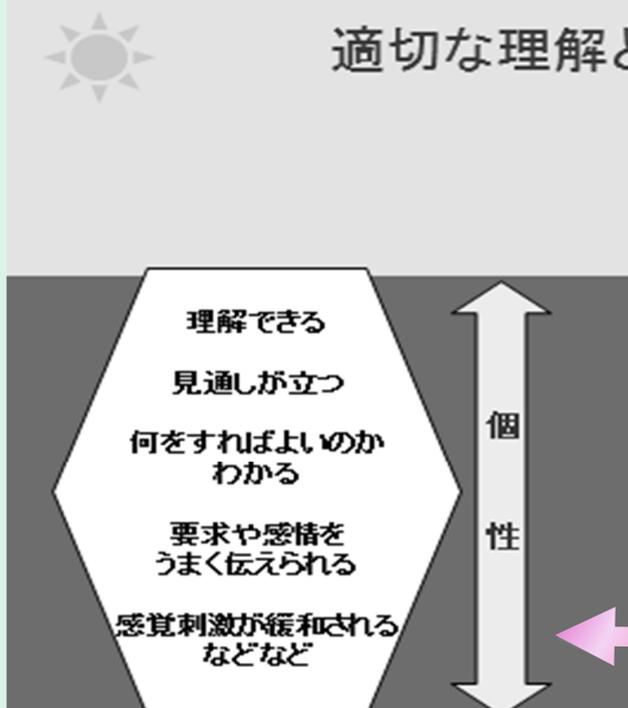
無理解・不適切な対応の場合



- 理解や支援の不適切度が高いということは、海水の塩分濃度が高いということ。
- 塩分濃度が高くなると、冰山は水面上に浮き上がる。
- 問題行動が生起、増悪する。

塩辛い対応。
例えば
言葉だけでくどくど。

適切な理解と支援の場合



- メリハリ(特性)や状況因を理解し、適切な支援方法を見つけることが、塩分濃度を下げる。
- 塩分濃度が下がれば、冰山は沈む。
- 問題行動は軽減あるいは消失する。

塩辛くない対応。
たとえば
具体的・肯定的・視覚的に。



発達特性に理解があったり、
配慮してくれる優しい先生が
いる保育園や幼稚園、児童ク
ラブは・・・

沖縄のおだやかな美しい海。



卒園(卒業)してからの
「人生」は、内海から大海原に
向かう長い航海の旅のよう
なもの。

そこにある「海」は、
塩辛くない穏やかな海ばかり
とは限らない。



心理・発達サポートルーム 🧑🏻
@shinrihattatsu

...

門眞一郎先生の新冰山モデル。

子どものさまざまな問題行動。
周囲の大人が発達の特徴を理解して、適切な（塩辛くない）環境をつくることで、問題行動が出なくて済む状態を目指します。

大人の対応を含めた「環境調整」が大切です。

#発達障害かどうかは関係なし
#キンダーカウンセラー



心理・発達サポートルーム 🧑🏻
@shinrihattatsu

...

返信先: @shinrihattatsuさん

当ルームの #子育て・発達相談 や 幼保の先生を対象とした #コンサルテーション では、まずは「環境調整」から始めますが、それだけで終わりではありません。

冰山が頭を出していない状態を作った上で、困った行動の原因に働きかけ、よりよい育ちを促す関わり方、方法を実行していきます。

アメリカの心理学者ブレナー・ブラウンは、18歳から87歳までの様々な立場に置かれた世界中の人たちの体験談を20年以上にわたって聞き取り、人間の幸せのパターンを調べてきた。彼女の膨大なデータが示していたのは、どれだけ弱点があっても、境遇に恵まれなくても、そんなことにはお構いなく、生き生きと充実した人生を送っている人達に唯一の共通点は、自分は、ありのまま愛される価値があると信じている、ということだった。

これが自尊心である。

自尊心とは、これまでの成功も失敗も、できることもできないことも、優越感も劣等感も、喜びも恐れも、カッコいい自分もカッコ悪い自分も、自分の好きなのところも、そして嫌いなのところさえ、すべてを抱きしめる力である。

自分を大切にできる人は、他人を大切にできる。自分を尊敬できる人は、他人を尊敬できる。

自分を愛するから、仕事を大切に、人生に意味を見つけることができ、何気ない日常に喜びを感じ、自分を生きる勇気が湧き、友人にやさしくでき、社会が大切に感じられる。

自分を愛する人だけが、人を愛することができる。人とのつながりを感じているから、自分の意にそぐわないことに対して率直にNOと言える。それで人間関係が変わっても仕方がないと覚悟している。彼らにはその勇気がある。

自分を愛する人は、自分を必要以上に大きく見せる必要を感じないから、威張らないし、自慢しない。彼らは、自分の弱さや欠点を認め、失敗を隠さず、間違えれば素直に頭を下げ、打たれ強い。

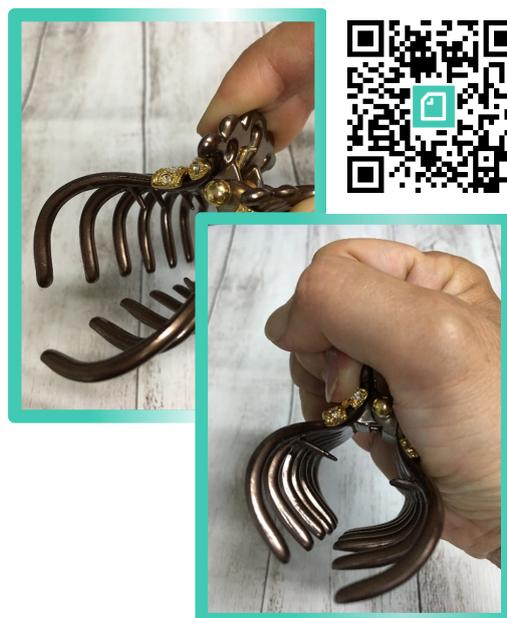
「人は誰でも間違える。誤った行動は正せばいい」と考えるから、失敗を人格の欠如と受け止めない。人格が傷つかないから失敗を恐れる理由がない。自分を恥じないから、オープンで隠し事をする必要がない。

自分を愛する人は、自分に大切なことを知っている人だ。「私はこれでいい」という確信があるから、NOと言える。自分らしさを大切に生きているから、他人の目を気にせず、「嫌われる勇気」を持ち、カッコ悪い自分に胸を張る、真の勇者だ。






なごこ先生 🧡 キンダーカウンセラー
 @NMaruyamaKC
 京都出身、沖縄在住の臨床心理士・公認心理師。心理・発達サポートルーム代表、合同会社OfficeTiiDA代表。開業13年目、この1月からオンラインでの子育て・発達相談を始めました。大人は統合的心理療法、乳幼児は応用行動分析がメイン。宇治のお抹茶をちんすこうといただくのがマイブーム 🍵 沖縄と京都のコラボを模索中 🍡
 📍 Okinawa ⇄ Kansai 🌐 shinrihattatsu.com
 📅 2020年8月からTwitterを利用しています
 309 フォロワー中 228 フォロワー



子どもの観察ポイントなどの情報を発信しています



<https://note.com/shinrihattatsu>



@NmaruyamaKC , @shinrihattatsu

私達「子どもの育ち支援」を
専門とする公認心理師は
その子の発達に合った
「塩辛くない」環境づくりの
お手伝いをします！



沖縄県公認心理師協会
<https://www.okisccp.jp/>



ご清聴 ありがとうございます。

Well-Being is based on
Well-Developing !

©office-tiida.com

